

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：職業訓練費 目：職業訓練校費

事業名【新】非正規雇用労働者等職業訓練事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部労働雇用課職業能力開発係 電話番号：058-272-1111(内3668)

E-mail : c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 66,150 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

| 区分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|--------|---------|---------|-----------|-------|-------|-------|-----|---------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使 用 料 手数料 | 財 産 入 | 寄 附 金 | そ の 他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 66,150 | 66,150 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

非正規雇用労働者数は増加傾向にある中、非正規雇用労働者に対するOFF-JT（業務命令に基づき、通常の仕事を一時的に離れて行う教育訓練（研修））を実施率及び非正規雇用労働者の自己啓発の割合が、正社員に対し低い状況にある。

このため、非正規雇用労働者が働きながら学び、キャリアアップを目指すことができる環境の整備を図り、正社員化等を目指す職業訓練の実施が求められている。

そのため国で制度化された。

(2) 事業内容

在職中の者であって、非正規雇用労働者（有期雇用労働者、パートタイム労働者、派遣労働者）又は待遇が非正規雇用労働者と同等であると認められる者を対象とし、地域における人材ニーズが見込まれる分野の訓練を、民間教育訓練機関等に委託して実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫負担10/10

(4) 類似事業の有無

特になし

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|--------|-------------------|
| 委託料 | 66,150 | 訓練実施経費、訓練用通信機器貸与費 |
| 合計 | 66,150 | |

決定額の考え方

| |
|--|
| |
|--|

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

本訓練について令和7年度までは先行実施であったが、令和8年度から全国的に本格実施となる。

(2) 後年度の財政負担

全額国庫負担

(3) 事業主体及びその妥当性

国との委託契約に基づき、事業主体は岐阜県。

県内の幅広い求人ニーズを把握し、効果的な訓練を実施しなければならないため、各分野に関する情報を収集可能な県が実施することは妥当である。

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

| |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
訓練実施により、訓練修了者の正社員転換、賃金水準向上を目標とする。

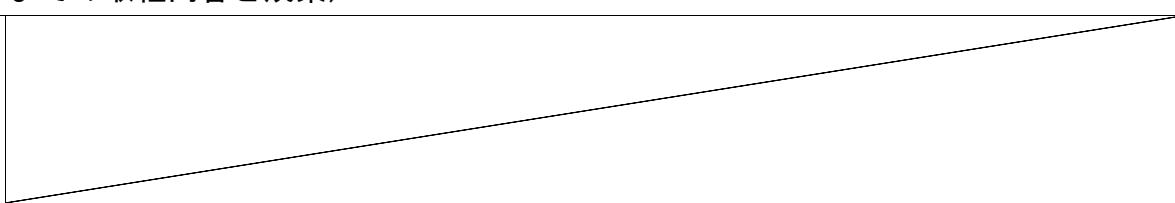
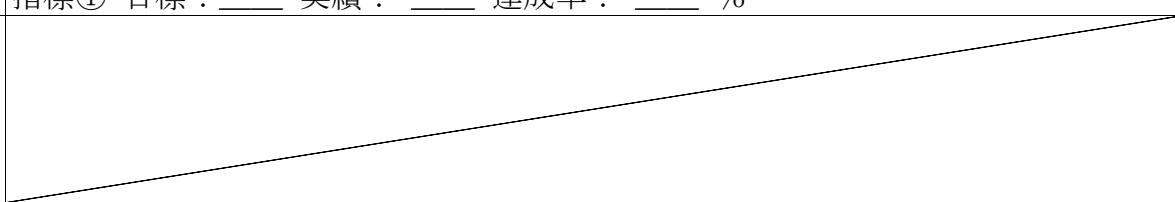
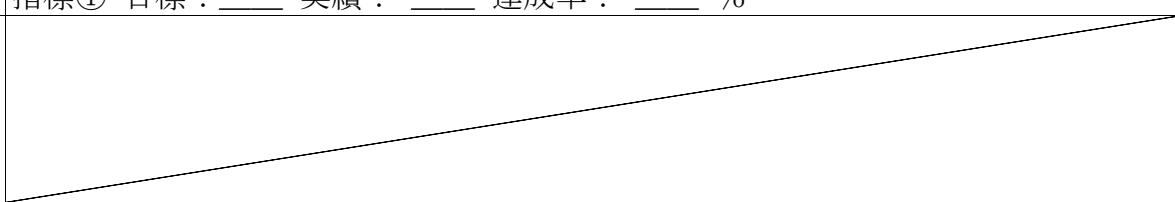
(目標の達成度を示す指標と実績)

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R6年度 実績 | R8年度 目標 | R9年度 目標 | 終期目標 (R10) | 達成率 |
|-----------|--------------|------------|------------|------------|---------------|-----|
| ①キャリアアップ率 | | | 20% | 20% | 20% | |

キャリアアップ率…①異なる職場で正規雇用労働者として就職②同一職場において正規雇用労働者への転換③賃金水準の向上

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

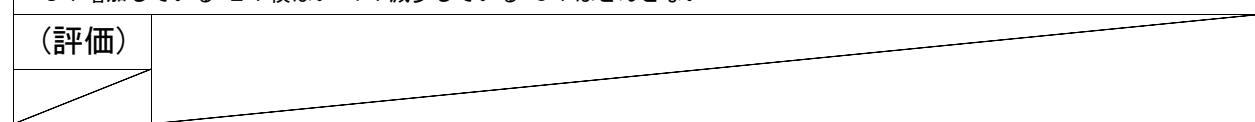
| | |
|--------------------------------|--|
| 令和4年度 |  |
| 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ % | |
| 令和5年度 |  |
| 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ % | |
| 令和6年度 |  |
| 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ % | |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない



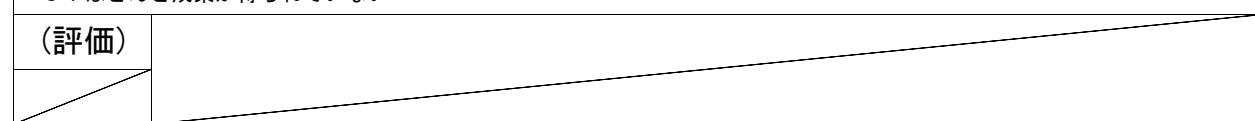
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり

2：期待どおりの成果あり

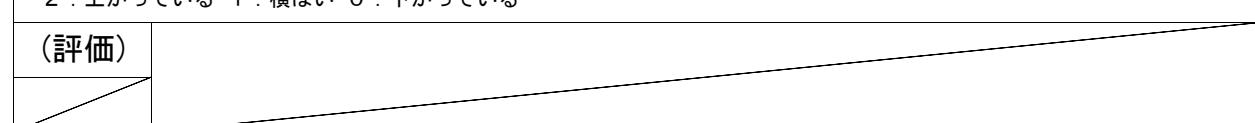
1：期待どおりの成果が得られていない

0：ほとんど成果が得られていない



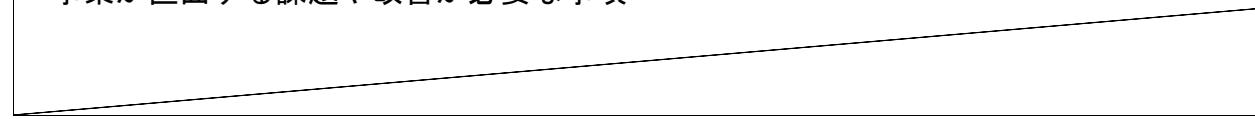
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている



(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項



(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

求人・求職ニーズを正確に把握し、人手不足分野や成長産業分野への人材供給を念頭に置いたコース設定を行う。